「僕たちのまちをごみだらけにしないでください」

ECOレンジャー

市商工会

にとって、幼い心にこれからどんな思い出として刻まれていくのでしょうか？

南丹市の夏は、まだ生まれたばかりです。伝統が受け継がれ、四季折々のイベントで育っていく南丹市の個性。歩き出した今、「誰かが」ではなく、わたしたち一人一人がその歩みをしっかり支えていくことが必要です。「わがまち」に対して思いを持ち、住み続けたいと思えるまちづくりを形にしていきましょう。

4つの町がそれぞれの良さを守りつつ、しっかりと手をつないだとき、新たな絆（きずな）の〝花〟が開きます。